



木の郷ぎふの家 御嵩建築 の住まい創り新聞

Vol.19

今回のテーマ

「笑家族SK-28」現場レポート②

太陽光発電基礎知識

可児市I様邸の新築工事 「笑家族SK-28」現場レポート

「造作」 階段・床張り・腰板張り

階段を取付けています。材質は桧の集成板です。

上下廻りなので、少し手間が掛かります。

ロフト下の天井の板張りも終わり、壁の漆喰下地の
石膏ボードも張り終わりました。

I様邸の床は桧の(無垢)フローリングです。

洗面所とトイレだけは竹の(無垢)フローリングです。

桧は香りと木の温もりを感じます。竹は水に強く、艶と堅さが魅力です。

大工さんが壁の腰板張りをしています。(材料は樺板です)

一枚一枚、鉋(かんな)で削り合わせながらの丁寧な仕事振りで

「これが匠の技ですね！」

「システムバス施工」

システムバスがきれいに付きました。おしゃれな色です！

「外壁工事」

I様邸の外壁は、1階部分がサイディング(白)で2階部分がガルバリウム鋼板(黒)です。

現在サイディングが張り上がり、ガルバリウム鋼板を張っています。

「漆喰」

2階は漆喰に色粉(黄色)を混ぜて塗っています。

漆喰独特の白色もイイですが、この色漆喰もやわらかい感じでイイですね。



可児市K様邸の新築工事が完成しました。



【当社ホームページ現場レポート抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】

太陽光発電基礎知識

セルとモジュールについて

セルとは太陽光電池、一枚一枚のことです。

セル変換効率とは、セル一枚に当たった太陽光がどれだけ電気に変換されるかを数値化したものです。

モジュールとはセル数十枚を、一枚のパネルの中に組み込んだ物です。

単結晶シリコン太陽電池

もっとも古くからあり、現在実用化されている太陽電池の中では性能が良い。シリコン原子が規則正しく並んでいるもので高純度のシリコンを薄くスライスたものを利用。そのため価格が高い。

多結晶シリコン太陽電池

単結晶シリコンの低コスト化、量産化を狙って考えられたもの。多結晶の場合はシリコン原子が多結晶ほど規則正しく並んでいない。現在では最もポピュラーなタイプです。

薄膜シリコン太陽電池

シリコンをなるべく節約するために考えられたもので、厚さがごく薄いシリコン膜を使う太陽電池です。単結晶、多結晶シリコン電池と比べると性能は落ちるがコストが安い。

アモルファスシリコン太陽電池

非結晶型の太陽電池。製造コストが安く薄くすることが可能というメリットがあり、安価な量産化が期待されている。一方で、結晶型太陽電池と比較しての発電効率の悪さや、紫外線を浴びることによる経年劣化が起こりやすいという不安定さが問題とされている。

ハイブリッド太陽電池(HIT太陽電池)

単結晶シリコンとアモルファスシリコンを組み合わせている。単結晶シリコン太陽電池に比べ、高温になっても性能の低下が大きいのが特徴。また、他の太陽電池は光を受ける面が決まっているのに対し、HIT太陽電池は裏面でも発電できる。パナソニックが主に製造・販売しています。ちなみに、可児市K様邸と御嵩建築の太陽光発電はPanasonicのHITです。K様談『一日の売電価格が1000円あったときにはビックリしました。』



知っておきたい電気用語

W(ワット)とWh(ワット時)

家電製品などでも消費電力200WというようにW(ワット)という言葉を目にしたか耳にされるかと思います。Wというのは電力の単位の一つです。乱暴に説明すると、Wというのは電力の単位で、Wh(ワット時:ワットアワー)というのはその消費電力を1時間利用した場合の電気量の単位となります。

ちなみに、kW(キロワット)は1000Wとなります。

つまり、60Wの電球というものを1時間使用した場合に消費する電力の量は60Whと表現されます。ちなみに、太陽光発電システムでもこのWとWhの表現はよく用いられます。太陽光発電システムモジュール(太陽電池)の発電能力は、〇kWと表現されます。そして、太陽光発電システムによって作られた電力は〇kWhと表現されます。

※来月から株式会社御嵩建築 太陽光発電所の発電量を掲載します。

ありがとうございました。

第7回「木の家博覧会」では、はじめて「しっくい塗り体験」を開催させていただきました。たくさんの笑顔が溢れる一日になりました。次回「木の家博覧会」を6月に予定しています。皆さまの笑顔を励みに、これからも家づくりのお手伝いをさせていただければと思います。